

平成30年12月18日

四国地方整備局 高知河川国道事務所

全国的にも例の少ない既設人工リーフの改良（離岸堤化） について技術的検討を進めます！

～「平成30年度 高知海岸保全フォローアップ委員会」を設立し、

第1回委員会及び「水理模型実験見学会」を開催～

- 高知河川国道事務所では、高知海岸の高潮・侵食対策を進めているところです。
- この度、高知海岸直轄海岸保全施設整備事業の進捗に伴い検討が必要となる、海岸保全施設の施設構造や整備効果の検証などについて技術的に分析、評価するため「高知海岸保全フォローアップ委員会」を設立することとしました。
- 第1回の委員会においては、現在、計画変更を進めている全国的にも例の少ない既設人工リーフの改良（離岸堤化）についてご審議いただく予定です。
- 当日は、委員会開催に先駆けて、同検討に係る水理模型実験の状況も公開致します。コンクリートブロックの配置等の違いによる波の影響を実際にご覧いただけます。

1. 開催日時

平成30年12月25日（火） 13:00～14:10（見学会）
14:30～16:00（委員会）

2. 開催場所

国土交通省 国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市旭1番地）
国総研敷地内実験棟（見学会）、国総研8階会議室（委員会）

※地図・交通案内は国土技術政策総合研究所ホームページをご確認ください。

3. 委員会議事（予定）

- ・人工リーフの改良（離岸堤化）に関する水理模型実験の妥当性
- ・水理模型実験結果に基づくブロックの配置 等

4. 公開等

- ・見学会、委員会は公開です。
 - ・委員会での配付資料等は、後日、高知河川国道事務所のホームページに掲載します。
- ※取材（報道関係者）や傍聴（一般）を希望される方は、12月21日（金）12:00までに、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所
電話（088）833-0111（代表）
○副 所 長 岡林 福好（内線204）
地域防災調整官 富永 剛史（内線304）
○主たる問い合わせ先

※敬称略

高知海岸保全フォローアップ委員会 委員	
所 属	氏 名
高知工科大学 学長	磯部 雅彦
鳥取大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 教授	黒岩 正光
大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 准教授	荒木 進歩
国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室長	加藤 史訓
国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 海岸室 海洋開発企画官	藤田 士郎
高知県 土木部長	村田 重雄
国土交通省 四国地方整備局 河川部長	佐々木 淑充
国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所長	久保 宜之

平成30年11月現在

既設人工リーフの改良(離岸堤化)について

高知海岸 南国工区



平成29年12月 撮影

人工リーフとは

珊瑚礁(リーフ)の消波機能を参考に、海岸沿岸の水面下にコンクリートブロック等で人工的にリーフをつくり、高波浪時の波高の低減や砂浜の長期的な安定を図ることを目的に設置する構造物です。

離岸堤とは

高波浪時の波高の低減や砂浜の長期的な安定を図ることを目的に設置する構造物です。海岸沿岸にコンクリートブロック等で築造されますが、人工リーフと違い、水面上に構造物が見えています。

既設人工リーフの改良(離岸堤化)とは

既設人工リーフの上に、コンクリートブロック等を設置することで、既設人工リーフの機能向上を図ります。

既設人工リーフの改良(離岸堤化)のイメージ図

